

第154期

報 告 書

2023年4月1日から2024年3月31日まで



株式会社 **ニッカトー**

証券コード：5367

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第154期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、経済社会活動の正常化が進み、緩やかな回復基調となりました。一方、長期化するウクライナ情勢や中東情勢の地政学上のリスクが深刻化し、円安の長期化等の影響による原材料やエネルギー価格の上昇並びに物価高を誘引し、人件費をはじめとしたコストの高止まり等、先行き不透明な状況下にあるとともに、中国経済の低迷を受け、当社主力販売先である電子部品業界への影響もあり、総じて厳しい環境下にありました。

このような状況の中、当社事業全体の売上高は前年同期比4.6%減の10,239,400千円となりました。損益面につきましては、営業利益は前年同期比16.7%減の918,319千円、経常利益は前年同期比15.7%減の992,217千円、当期純利益は前年同期比16.0%減の701,907千円となりました。事業別の状況としてセラミックス事業は、当社主力販売先である電子部品業界の市況が低調に推移したことにより、売上高は前年同期比8.0%減の7,529,800千円となりました。利益面については、原材料価格等の上昇によるコスト増や、受注減により工場稼働率が低下したことで、売上原価率が2.1ポイント増加する結果となり、セグメント利益は前年同期比26.8%減の721,101千円となりました。一方、エンジニアリング事業につきましては、自動車・重機関連や鉄鋼関連向け等の活発な市況に支えられ、好調に推移した結果、売上高は前年同期比6.2%増の2,709,600千円となりました。セグメント利益については、増収や計測機器の利益率改善効果が大きく、前年同期比68.4%増の197,218千円となりました。結果、当社目標数値としているROE（自己資本当期純利益率）8%以上、EPS（1株当たり当期純利益）65円以上につきまして、当事業年度の実績としてROEが5.5%、EPSは58円81銭となり目標数値を下回る結果となりました。今後も資本の効率的な運用及び利益率改善に取組み、引き続き目標数値を目指していくものであります。

今後の見通しといたしましては、足元の環境は、地政学的リスクを主因とする原材料の高止まりによる物価上昇等今暫くは厳しい環境下にあり、各国の大統領

選挙も控え、先行きの見通しが非常に予測しづらい状況にあります。このような環境下、中国経済の低迷などによる当社主力販売先である電子部品業界の生産調整等の影響もあり、次年度上半期は引き続き影響を受けるものと予測しており、状況の改善は下半期以降との見込みによる事業計画となっております。次年度である2024年度は、当社中期経営計画「CONNECT25」の最終年度でもあり、今後益々企業としての責任となる環境問題や社会課題への取組みを一層加速させ、かつ競争が激しくなる部材などの一層生産効率を改善し、環境面を配慮した低コスト品の開発を推し進め、それらの関連投資に積極的に取組み、企業価値向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上

取締役社長

大西宏司



経営方針

● 経営の基本方針

当社は、「経営理念」に基づき、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて、科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献することを基本としています。

独自技術を磨き時代に即応した商品を環境保全に努めて生産の効率化を図り、適正な価格で販売して、株主各位、顧客、従業員並びに地域社会に貢献してまいります。

更に、企業基盤の強化と業績の向上を図り企業価値を高めることに最善を尽くしますとともに、スピーディな経営情報の開示に努めてまいります。

● 利益配分に関する基本方針

当社は、経営資源の効率的な運用を行って企業基盤と財務体質の強化を図り、株主各位に中期的な配当の維持に努め、適正な利益還元を行うことを基本としています。

利益配当につきましては、上記観点から配当性向30～50%を目安として配当金を決定し、株主各位のご期待に沿うように努めてまいります。

● 中長期的な経営戦略

当社の存在意義である、「独自素材の提供を通じて、脱炭素社会の実現に貢献する」べく、持続的に成長し、社会的課題の解決に取組み続けられる経営基盤の再構築期間と位置づけ、2021年11月に新中期経営計画「CONNECT25」を策定いたしました。その主なテーマは以下のとおりです。

【QUALITY】市場ニーズに応える製品・技術の追求

- ・これまで築いてきた競争優位性を元に、変化する市場ニーズに応えられる製品開発を推進

- ・素材・性能・品質・コスト面において、更なる付加価値向上・差別化を追求

【ENVIRONMENT】環境負荷軽減のための技術開発

- ・製品製造時の温室効果ガス削減・エネルギー利用減少を実現する、製造プロセス改善を推進

- ・当社の製品により、顧客の生産工程における環境負荷の軽減に繋がる製品・技術開発を強化

【MANAGEMENT】事業ポートフォリオの再構築

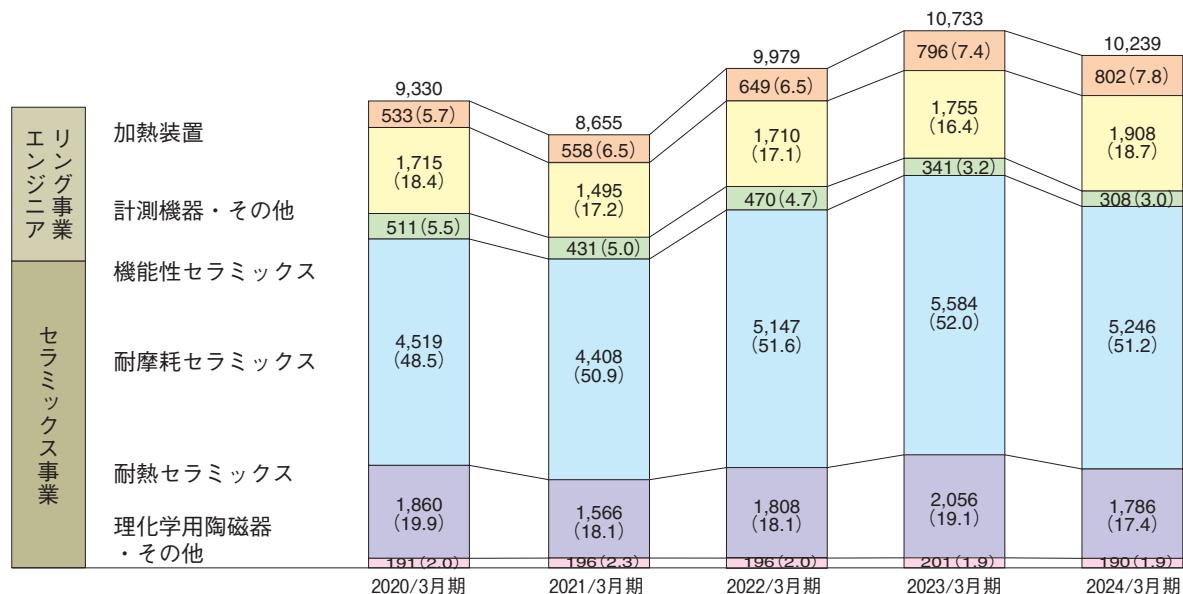
- ・全事業・製品を4つのステージ（重点・強化・再構築・再編）に分類定義

- ・市場ニーズに応えるべく、競争力のある重点・強化事業には経営リソースを集中投下、再構築・再編事業は高付加価値化による収益性改善を図る

以上の取組みにより、脱炭素社会の実現に貢献し“Reliable Company”一時代に必要とされる企業だけが成長する一ことを意識し持続的成長に繋げてまいります。また併せて人材の育成及び知財管理の強化に努めてまいります。

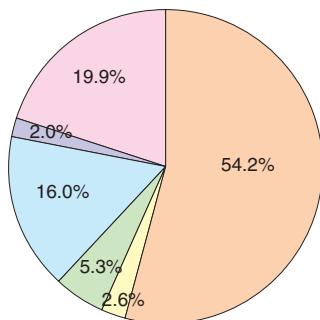
● 事業別売上高・構成比

(単位：百万円、()は構成比%)

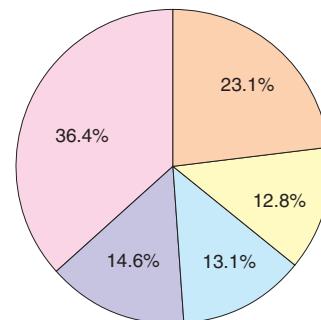


● 市場別構成比 (2024/3月期)

セラミックス事業



エンジニアリング事業

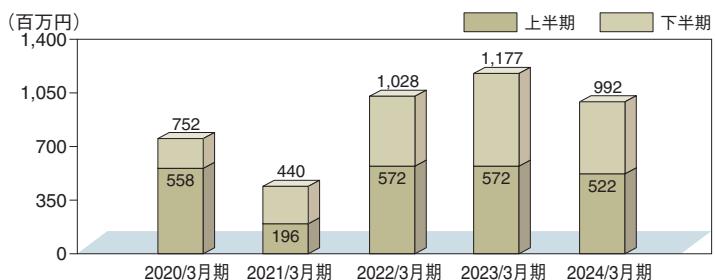


業績の推移

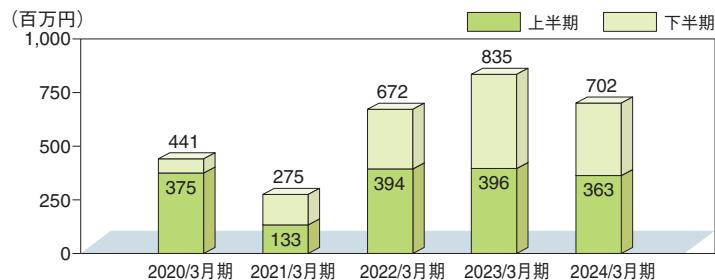
売上高



経常利益



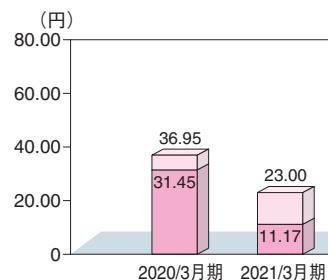
当期純利益



項目	2020年3月期 第150期	2021年3月期 第151期
受注高(千円)	8,795,024	8,710,494
売上高(千円)	9,329,618	8,654,588
経常利益(千円)	752,367	439,799
当期純利益(千円)	441,068	274,575
1株当たり当期純利益(円)	36.95	23.00
純資産(千円)	10,865,165	11,429,965
総資産(千円)	15,220,841	15,930,202
総資産経常利益率(%)	5.0	2.8
自己資本当期純利益率(%)	4.1	2.5
売上高営業利益率(%)	7.1	4.2

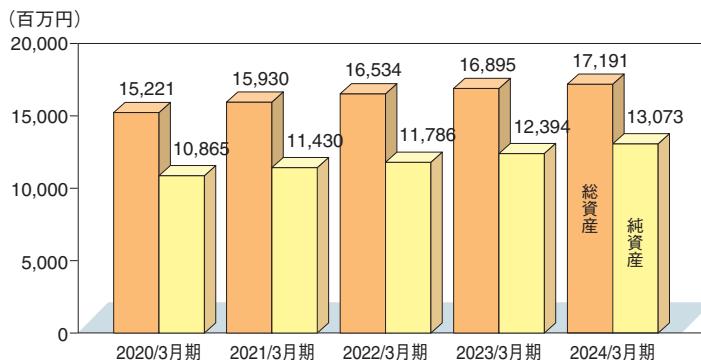
※第152期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計
おり、第152期以降の財産及び損益の状況については、
ております。なお、これによる財産及び損益に与える

1株当たり当期純利益



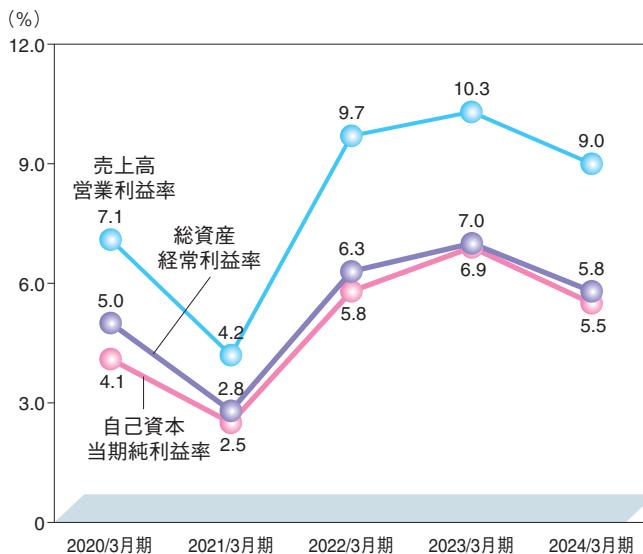
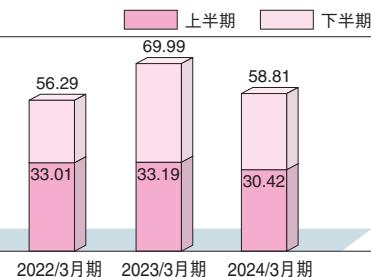
● 総資産・純資産

2022年3月期 第152期	2023年3月期 第153期	2024年3月期 第154期
10,466,713	11,861,140	9,367,396
9,978,775	10,733,137	10,239,400
1,027,914	1,177,302	992,217
671,884	835,360	701,907
56.29	69.99	58.81
11,786,460	12,393,613	13,072,807
16,533,730	16,894,948	17,190,716
6.3	7.0	5.8
5.8	6.9	5.5
9.7	10.3	9.0



● 自己資本当期純利益率、総資産経常利益率、売上高営業利益率

基準第29号（2020年3月31日）等を適用して当該会計基準等を適用した後の数値を記載し影響はありません。



貸借対照表

資 産 の 部				
科 目	期 別	第154期	第153期	第152期
		(2024年3月31日現在)	(2023年3月31日現在)	(2022年3月31日現在)
流 動 資 産		10,083,474	10,253,516	9,606,685
現 金 預 金		3,384,604	3,508,317	3,357,885
受 取 手 形		257,992	423,986	487,858
電 子 記 録 債 権		991,150	775,680	783,950
売 掛 金		2,509,142	2,385,352	2,185,131
商 品 ・ 製 品		844,147	1,224,017	1,094,827
その他の棚卸資産		2,070,925	1,904,570	1,659,424
そ の 他		25,510	31,592	37,607
固 定 資 産		7,107,242	6,641,431	6,927,044
有形固定資産		4,662,980	4,585,160	4,858,727
建 物		2,365,361	2,317,275	2,416,247
機 械 装 置		1,155,870	1,078,082	1,264,972
土 地		904,808	904,808	904,808
そ の 他		236,939	284,993	272,698
無形固定資産		101,657	147,911	189,198
投資その他の資産		2,342,604	1,908,359	1,879,119
投 資 有 価 証 券		2,186,755	1,799,028	1,754,621
そ の 他		155,849	109,331	124,497
資 産 合 計		17,190,716	16,894,948	16,533,730

(単位：千円未満切り捨て)

負債の部			
期別	第154期	第153期	第152期
科目	(2024年3月31日現在)	(2023年3月31日現在)	(2022年3月31日現在)
流動負債	3,300,519	3,604,874	3,668,272
電子記録債務	481,083	426,421	434,796
買掛金	1,156,850	1,585,364	1,524,689
短期借入金	400,000	400,000	400,000
1年以内返済予定の長期借入金	214,392	220,892	256,892
未払消費税等	40,461	20,308	171,067
未払法人税等	79,415	225,961	228,015
賞与引当金	249,300	286,870	266,300
その他	679,016	439,057	386,511
固定負債	817,388	896,459	1,078,997
長期借入金	320,844	535,236	756,128
長期未払金	82,797	—	—
役員退職慰労引当金	—	111,044	95,022
預り保証金	85,270	86,643	67,577
資産除去債務	61,122	61,056	60,992
繰延税金負債	265,168	101,794	97,658
その他	2,186	684	1,618
負債合計	4,117,908	4,501,334	4,747,269
純資産の部			
株主資本	12,245,201	11,831,583	11,258,802
資本金	1,320,740	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,251,363	1,225,438	1,225,438
資本準備金	1,088,420	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	162,943	137,017	137,017
利益剰余金	9,786,809	9,373,069	8,800,288
利益準備金	205,810	205,810	205,810
その他利益剰余金	9,580,999	9,167,259	8,594,478
別途積立金	5,100,000	5,100,000	5,100,000
繰越利益剰余金	4,480,999	4,067,259	3,494,478
自己株式	△113,712	△87,665	△87,665
評価・換算差額等	827,606	562,030	527,657
その他有価証券評価差額金	827,606	562,030	527,657
純資産合計	13,072,807	12,393,613	11,786,460
負債及び純資産合計	17,190,716	16,894,948	16,533,730

損益計算書

(単位：千円未満切り捨て)

科目 \ 期別	第154期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	第153期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	第152期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
売上高	10,239,400	10,733,137	9,978,775
売上原価	7,918,688	8,145,658	7,644,827
売上総利益	2,320,711	2,587,479	2,333,947
販売費及び一般管理費	1,402,391	1,485,115	1,361,778
営業利益	918,319	1,102,363	972,169
営業外収益	85,738	89,698	71,657
営業外費用	11,840	14,759	15,911
経常利益	992,217	1,177,302	1,027,914
特別損失	8,087	2,505	17,780
税引前当期純利益	984,129	1,174,797	1,010,133
法人税、住民税及び事業税	241,000	351,000	291,000
法人税等調整額	41,222	△11,563	47,249
当期純利益	701,907	835,360	671,884

株主資本等変動計算書

NIKKATO

(単位：千円未満切り捨て)

第154期 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
当期首残高	1,320,740	1,225,438	9,373,069	△ 87,665	11,831,583	562,030	12,393,613
当期変動額							
剰余金の配当			△ 288,166		△ 288,166		△ 288,166
当期純利益			701,907		701,907		701,907
自己株式の取得				△ 94,345	△ 94,345		△ 94,345
自己株式の処分		25,925		68,298	94,224		94,224
株主資本以外の項目の 当期変動額						265,575	265,575
当期変動額合計	－	25,925	413,740	△ 26,047	413,618	265,575	679,193
当期末残高	1,320,740	1,251,363	9,786,809	△ 113,712	12,245,201	827,606	13,072,807

貸借対照表・損益計算書に対する注記

	第154期	第153期	第152期
1. 有形固定資産減価償却累計額	12,354,023千円	12,097,871千円	11,626,483千円
2. 担保に供している資産 投資有価証券	70,909千円	56,564千円	50,268千円
3. 1株当たり当期純利益	58円81銭	69円99銭	56円29銭

キャッシュ・フロー

当事業年度末における現金及び現金同等物は3,384,604千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

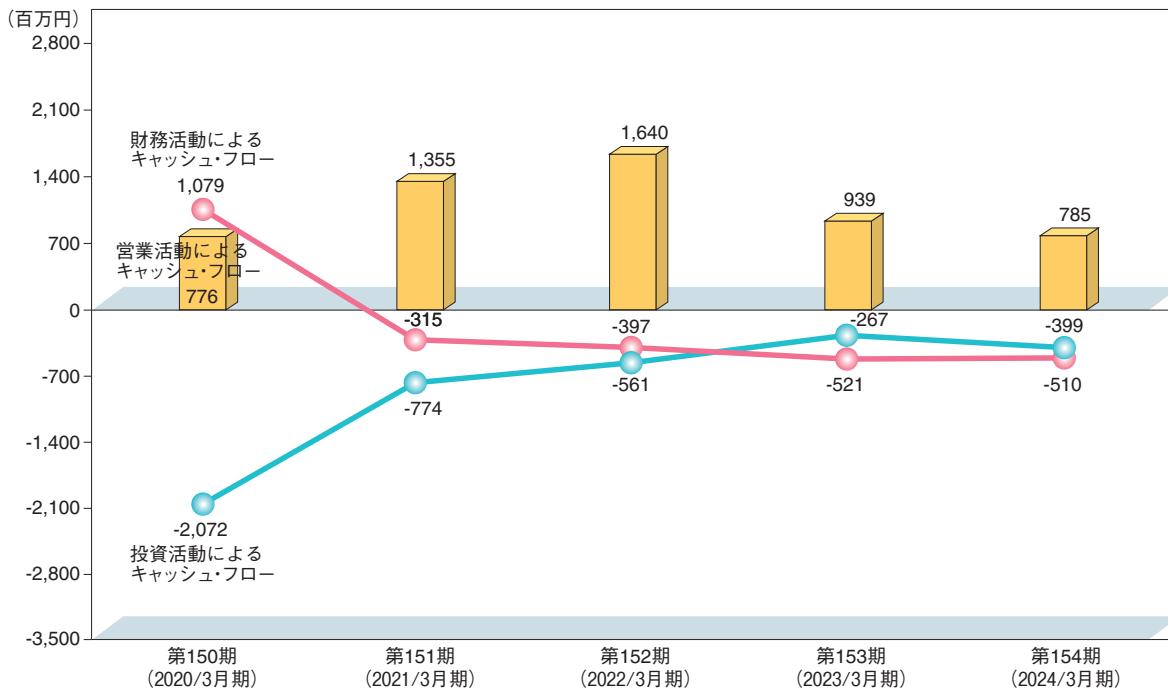
営業活動によるキャッシュ・フローは、当社主力販売先の電子部品業界の低迷により減収となりました結果、税引前当期純利益は984,129千円となり、売上債権が173,267千円増加し、棚卸資産が213,514千円及び仕入債務が373,852千円減少しました。結果、営業活動によるキャッシュ・フローは785,118千円となり前年同期比153,617千円収入が減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得が392,773千円の支出となりました。結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△398,902千円と前年同期比131,685千円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済220,892千円、配当金の支払い287,981千円を行いました。結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△509,929千円と前年同期比11,157千円支出が減少いたしました。



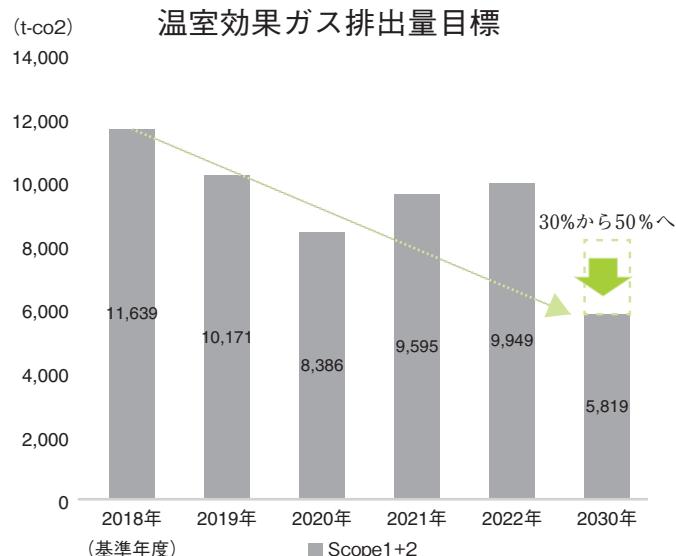
SBTi認定取得



当社は、温室効果ガスの削減目標について中小企業向けSBTi (Science Based Targets initiative) *1の認定を取得いたしました。

昨年度、開示しておりました2030年度における温室効果ガスの削減目標を2018年度対比30%から50%へ引き上げております。

今後は、これまで以上に地球環境の保全を意識した企業活動を展開し持続可能な社会の実現に貢献してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



*1 パリ協定 (世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準に抑え、また1.5℃に抑えることを目指すもの) が求める水準と整合した、5年~15年先を目標年として企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のことです。「Science-based Targets」の頭文字を取った略称で、日本語では「科学的根拠に基づく目標」とも呼ばれています。気候変動対策に関する情報開示を推進する機関投資家の連合体である (CDP)、国際環境NGOの世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF)、国連グローバル・コンパクト (UNGC) の4つの国際機関によって運営されております。

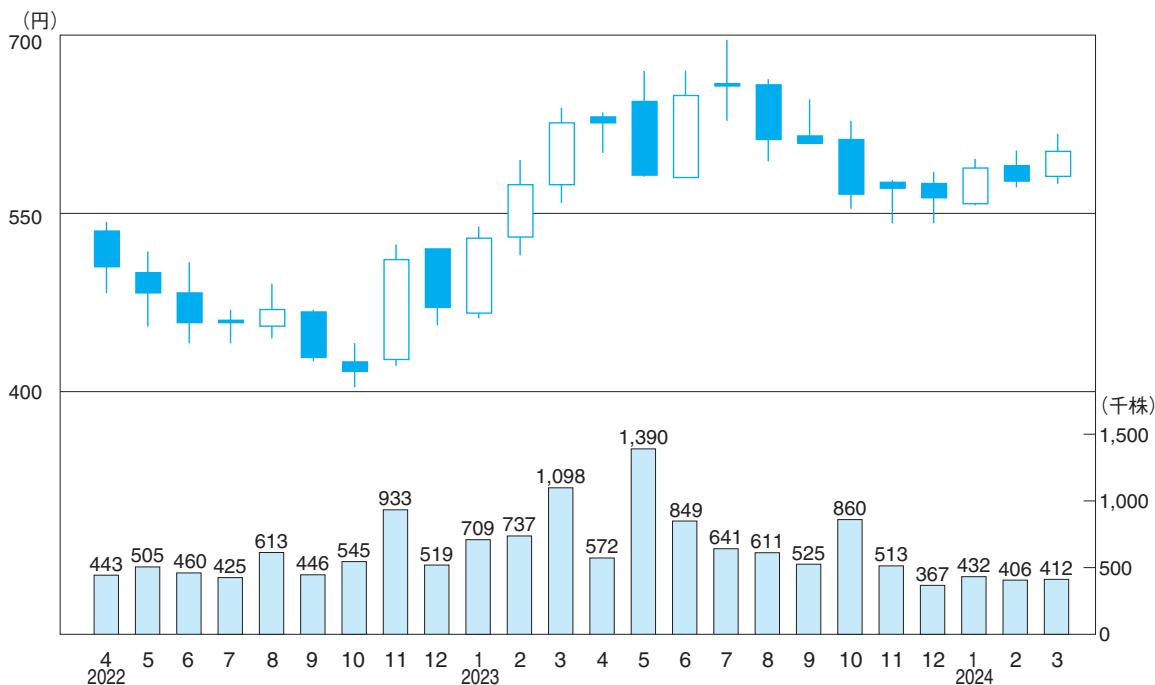
株式の状況 (2024年3月31日現在)

● 発行可能株式総数
37,280,000株

● 発行済株式総数
12,091,239株
(自己株式44,456株除く。)

● 株主数
4,451名

● 株価・株式売買高



● 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
ニッカトー取引先持株会	821	6.8
東ソ一株式会社	599	5.0
株式会社チノー	574	4.7
株式会社みずほ銀行	499	4.1
ニッカトー従業員持株会	400	3.3
株式会社共和電業	400	3.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	387	3.2
朝日生命保険相互会社	353	2.9
株式会社ツバキ・ナカシマ	300	2.5
西村隆	290	2.4

(注) 当社は自己株式44,456株を保有しております。

会社の概要 (2024年4月1日現在)

NIKKATO

- 創業 大正2年6月
- 資本金 13億2,074万円
- 事業の内容 セラミックス及び計測機器・加熱装置の製造・販売
- 事業所
本社 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁目2番24号 ☎(072)238-3641
東京管理部 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚) ☎(03)5978-3500
大阪セラミックス部 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁目2番24号 ☎(072)238-4681
東京セラミックス部 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚) ☎(03)5978-3501
エンジニアリング部 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚) ☎(03)5978-3511
名古屋営業所 〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2丁目2番1号(イノフィスビル) ☎(052)269-2440
厚木営業所 〒243-0018 神奈川県厚木市中町1丁目8番24号(リバーサイドビル) ☎(046)296-1155
堺工場 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁目2番24号 ☎(072)238-3643
東山工場 〒599-8247 大阪府堺市中区東山670番地 ☎(072)278-0385

役員 (2024年6月21日現在)

代表取締役	取締役	取締役	取締役	役員	大西宏司	取締役	土井祐二
※取	※取	※取	※取	※取	濱田悦男	※取	西村元昭
					田邊絵理子	※取	白間真次

(注) 取締役のうち土井祐二、西村元昭、白間真次の3名が監査等委員である取締役であります。(※印の取締役は社外取締役)

会計監査人 清稜 監査法人

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 6月

配当金受領 期末配当金 3月31日

株主確定日 中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告とします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL (<https://www.nikkato.co.jp/>)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

(未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続き)

〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行 証券代行部

0120-288-324 (通話料無料)

(証券会社に口座をお持ちの場合の各種お手続き)

お取引の証券会社

(特別口座に入っている場合の単元未満株式の買取等のお手続き)

〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行 証券代行部

0120-288-324 (通話料無料)